

平成29年度「教職員を対象とした男女共同参画研修」開催要項

1. 趣 旨

変化の著しい社会状況下において、児童生徒の人格を形成し、その「生きる力」を高めていくためには、指導に当たる教職員が男女共同参画の視点をしっかりと身につけ、人権感覚を磨くとともに、教職員がその能力を十分に発揮することができる職場環境を整備することが必要です。

この研修では、男女共同参画の基本理念について整理するとともに、学校現場や家庭が直面する現代的課題について、男女共同参画の視点から捉えて、理解を深めます。教職員自身のワーク・ライフ・バランスや働き方の重要性と学校経営に与える影響、LGBTをめぐる課題についても取り上げ、深く掘り下げます。

2. 主 催

独立行政法人国立女性教育会館（NWE C）

3. 後 援

独立行政法人教職員支援機構（N I T S）

4. 会 場

国立女性教育会館
埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728
TEL:0493-62-6724・6725

5. 期 日

平成30年1月6日（土）～1月7日（日） 1泊2日

6. 対 象 者

初等・中等教育学校の教職員（国公立、私立）、教育委員会など教職員養成に関わる機関の職員

7. 定 員 30名

8. 日 程

1/6 (土)	12:45 13:15 13:30 14:30 14:40 16:00 17:30 19:00 21:00									
		受 付	開 会	講 義 1	休 憩	グループ ディス カッション	情報 提供	チェック イン 夕食	情報交流会 (自由参加)	

1/7 (日)	9:00 10:00 10:10 11:40 13:00 14:20 14:30 15:00 15:10									
	講 義 2	休 憩	グループ ディス カッション	昼 食	ワーク と解説	休 憩	グループ ディス カッション	開 会		

9. 内 容

第1日 1月6日(土)

(1) 開会 13:15～13:30

主催者あいさつ：内海 房子 国立女性教育会館理事長

(2) 講義1 「学校現場における男女共同参画課題とは―男女共同参画の視点を身に付ける―」

13:30～14:30

男女共同参画は、難しく捉えられがちですが、実は大変身近な問題です。その基本理念について改めて学ぶとともに、学校現場が直面する現代的課題について、男女共同参画の視点から読み解きます。

講 師：村松 泰子 公益財団法人日本女性学習財団理事長

(3) グループディスカッション 14:40～16:00

講義1を踏まえ、学校現場にみられる男女共同参画課題、教職員や保護者の中に根強く残る固定的性別役割分担意識、教職員自身の働き方などについて考えます。ディスカッションを通じ、課題を共有しつつ、それらが児童生徒にどのように影響していくのかについて掘り下げます。

ファシリテーター：引間 紀江 国立女性教育会館事業課専門職員

(4) 情報提供 「インターネットを使った情報検索と利活用について」 16:00～17:30

パソコンを一人一台使用し、国立女性教育会館のデータベースにアクセスし、児童生徒が生きていくこれからの社会状況を現わすデータや統計数値を確認します。実際の作業をととして、インターネットを利用した資料検索や活用のヒント、注意点を専門職員が説明します。

講 師：五十嵐裕一 国立女性教育会館情報課専門職員

◇チェックイン・夕食 17:30～19:00

【情報交流会・自由参加】学校現場におけるLGBTをめぐる課題について 19:00～21:00

教職員を対象にLGBTに関する課題を抱えた児童生徒への対応のあり方や教職員の人権意識についての研修を行っている講師を囲み、学校現場における具体的な対応について、情報交換・交流を行いながら、共に考えます。

講 師：中光 理恵 千葉県柏市立西原小学校教頭

（5）講義2「学校現場の女性管理職登用の課題について考える」 9:00～10:00

小学校・中学校・高等学校のいずれにおいても、全教職員に占める女性の割合に比べて、管理職に占める女性の割合は低い現状にあります。このことは、学校経営や生徒指導にどのような影響を与えるのでしょうか。教職員の働き方改革にも深く関係する学校現場の女性管理職育成について考えます。

講 師：飯島 絵理 国立女性教育会館研究国際室研究員

（6）グループディスカッション 10:10～11:40

講義2を踏まえ、教職員自身の男女共同参画意識の重要性、教職員のワーク・ライフ・バランス、学校現場の女性管理職の登用が児童生徒にいかに関与するかなどについて考えます。

ゲストスピーカー：調整中

ファシリテーター：国立女性教育会館専門職員

◇昼食 11:40～13:00

（7）ワークと解説

「男女共同参画の重要性を実感するワーク～アクティブラーニングをとおして～」

13:00～14:20

人権感覚を身につけるためには、「多様性」を恐れないことと、「自分と異なるものを受け入れていく」姿勢が重要です。前半は、アクティブラーニングの手法を用いた、多様性を認め合えるワーク（体験学習）を行います。後半は、ワークの解説をとおして、教職員自身の男女共同参画意識の重要性、児童生徒の個性や能力を活かしたキャリア形成を支える学校現場の在り方、そして男女共同参画の基礎となる多様性のある社会と人権の尊重について考えます。

講 師：高崎 恵 オフィスピュア 男女共同参画政策アドバイザー
ワークショップデザイナー

（8）グループディスカッション・全体の振り返り 14:30～15:00

ここまでの講義で学んだ内容について振り返り、自身の意識の変容や課題について共有します。また、明日からの実践につながる取組について考えます。

（9）閉会・アンケート記入 15:00～15:10

10. 所要経費

(1) 研修参加費 無料

(2) 宿泊費 研修期間中は1泊1人あたり1,200円（前・後泊も1泊1,200円）

(3) 情報交流会費 1,000円（消費税込・軽食・飲物を含む）【希望者のみ】

11. 申込方法

(1) 方法 別紙「参加申込書」に必要事項を記入し、以下のメールアドレスに御送信ください。【メールアドレス:progdiv@nwec.jp】

(2) 申込期限 平成29年12月22日（金） 17:00締切

(3) 参加決定通知

参加申込書記載の連絡先に、電子メールまたは文書にて発送します。12月26日（火）迄に連絡が無い場合は、お手数ですが事業課（Tel：0493-62-6724・6725もしくはメールアドレス:progdiv@nwec.jp）にお問い合わせください。

12. その他

期間中、職員が撮影した写真を、事業記録や広報のために使用することがあります。あらかじめ御了承ください。